

序文

道法自然、自然本性

自然からのタオ、自然のためのタオ

日本人のユング派分析家である Kiyomi Hirose は、Kazuki Chiga による *The Code of "Laozi-A Gate for the Great Tao* (「老子」の暗号—グレートタオへの扉) を英語に翻訳しました。著者は中国南部の山脈地域の奥地に、冒険の旅に出ました。そしてその旅での特別な体験を紹介し、それを背景として、あるいは手がかりとして、老子についての型にはまらない、創造的な考えを述べています。

記録に残されている歴史によると、老子は Li Er という名前です。Dan とも呼ばれます。Chu 州 Kuxian 郡 (現在の Luyi, Henan) の出身者であり、BC570-480 に生きた人です。晩年函谷関を通った際、関守の Yinxi に 5000 語を語りました。それが現在、『老子』もしくは『道德経』として残されています。

『道德経』や老子の思想は、東洋の神聖な古典として知られています。『道德経』には、何千もの中国語版があり、膨大な量の知です。30 以上の言語を含む、500 近くの外国語の翻訳があり、広範に影響を与えてきました。「Wuwei—無為」「Huanghu—特別な恍惚感」「Xuanmiao—神秘主義」「Gushen—谷の神」「Xuxin—謙虚さ」「Ziming—自己覚醒」「自然に従う道」「物事は逆説的である」「自然への回帰」などはすべて、老子の「道」と「徳」の観念的な現れです。

しかしながら、老子と彼の思想は、書物の中にあるだけでなく、自然に由来し、自然と調和し、生きていることと生命の意味の中に包含されています。

Kazuki Chiga は高校のころから、老子について学んでいます。彼は大学で中国古代哲学を専攻し、学ぶために中国を好んで旅していました。彼が3度目に中国を旅したとき、雲南省南部の山脈地域を訪れ、仙人のような外見の、思考の明晰な M 老人に出会いました。

この伝説的な M 老人との出会いが、*The Code of "Laozi-A Gate for the Great Tao* (「老子」の暗号—グレートタオへの扉) の生まれるきっかけとなりました。山脈地域の奥地への冒険、自然からの啓発、そこでの生活体験、M 老人の教えが、Kazuki Chiga に *The Code of "Laozi* への着想をもたらしました。著者が書いているように、中国の山脈地域の奥地を偶然旅することになり、予期せぬ出会いがあり、そしてそこで彼が個人的な体験をしたことを通して、老子が真に言ったことを、彼は最終的に知ることになりました。

Kazuki Chiga と、彼によって描かれた M 老人の観点からいうと、老子の本質は「タオ」です。「タオ」は、宇宙の発展の中で従われてきた、自然の法則です。著者は、M 老人が住んでいる村が、人間の記憶の中の神秘的な世界を呼び覚ます、と信じています。それゆえ彼は、老子の伝えた「性的エネルギーを含む古代の英知」についてふれています。それは「性的な宇宙」ともいうべきもので、著者がこの本の中で伝えようとしている主要なメッセージです。

*The Code of "Laozi"*の中で、「性」は、いくつもの意味で使われています。つまり、性的な経験、自然の性質、性的エネルギー、神聖な性、です。そして著者は、普遍的な性の概念を提示しています。彼は、すべてのものが究極の性／性質から生じ、すべての細胞、分子、原子は性から生まれる、と考えています。そして性（性的エネルギー）を、宇宙の本質としてさえ考えています。

Kazuki Chiga の *The Code of "Laozi"* に賛成するのが難しいと感じ、M 老人が実在するかどうか、疑問を投げかけさえする人もいるかもしれません。しかしこの本に表された思想は、独自の視点から、それ自身の哲学を創造しています。

もともと漢字の「性」(xing) は、象形文字であり、音と意味の合わさったものであり、象徴的で比喩的で類似的な意味を伝える、表意文字です。

中国語で「性」(xing) は、「セックス」「ジェンダー」「生殖」を意味するだけでなく、「本質」「自然」や、生命の本来の意味をも含んでいます。(例えば『孝経』では、xing は、生活の質のことを意味しています。『易経』では、天の大いなる徳は、生み出すことである、といわれています。また、生命がどのような道筋をたどっていくか、が易経である、ともいわれています。さらに、「誰かが生まれてきた理由を xing と呼ぶ」—荀子、ともいわれています。)「自己についての知」(『中庸』では、自分に対する誠実さが、xing の性質であるとされています) や「天命」(『中庸』では、天命は生来与えられている本性 (xing) である、とされており、この本性 (xing) は、タオと呼ばれています。) など、これら全ての表現に、老子のタオに通じるものが含まれています。

「性 (xing)」という漢字が「象形文字」であり「表意文字の組み合わせたもの」であるということに関していうと、「性 (xing)」という漢字は、「心」と「生命」をそれぞれ意味する形が組み合わせられてきています。このことは、心の種子、あるいは生命の核は、生まれつきそなわったものであるということを示しています。心の種子というのは、慈悲のことです。(「慈悲」の核も元型も両方とも、「心」のイメージを含んでいます。) それはまた、「Yuan」でもあります。『易経』の四つの徳、Yuan (始まり)、Heng (繁栄)、Li (慈悲深さ)、Zhen (忍耐) の中の「Yuan」であり、天、地球、宇宙の生命力です。『易経』がまさに言っているように、1つの陰と1つの陽が、タオです。陰陽は、タオのもともとの意味を含んでいます。タオのイメージは、太極のようであり、太極もまた陰陽を含んでいます。

「シンクロニシティ」についてお話ししましょう。Kiyose Hiromi がこの *The Code of "Laozi"* の翻訳を私に送り、序文を書いて欲しいと依頼してきたとき、私はこの本で描かれている中国南部の山脈地域に向かおうとしていました。ミャオ族の村と Dong 地域と、外部の人たちには未だ開かれていない、古代からある山奥のいくつかの村へ、です。私は、*The Code of "Laozi"* と A.Cheng の "Luoshu Hetu" (易経の元々の形のものを) を携えて出かけました。

ここでは、人々は自然と調和しており、無垢で素朴です。山々は高く、川は長く、空気は鳥の鳴き声と花の香に満ちています。古い木々は森となり、“朝顔”はまさに夜明けの美しさを運んできます。大人は働き、田畑を耕し、織物をしています。子どもは遊び、犬や猫はともにいます。どこをみても、全てがデジャブです。まるで私たちは以前会ったことがあるかのように、心からの笑顔をお互いに交わします。夕方日が沈んだ後、森の中を歩いていると、月の光が私を包み、それはまるで夢の中のようです。心と魂のトランスのような何かです。Kazuki Chiga の The Code of “Laozi”の中で描かれているのに似た風景が、そこにありました。自然の中の調和と調和の中にある自然、これが真に、老子の思想や『道徳経』の具現化されたものです。

A.Cheng は、熟練した中国人の学者であり、芸術家です。何年も前、彼が同じ山脈地域で調査を行っていたとき、ミャオ族の刺繍の模様の中に、古代の Luoshu と Hetu の秘密を発見しました。Hetu と Luoshu は、易経の起源と関係しています。老子のタオもまた、易経と関連があります。Tai Shigong が「易経は、陰陽の中で語られる」と言ったように、易経もまた、老子の思想を包含しています。

2016 年、国際分析心理学会 (IAAP) 第 20 回大会が、日本の京都で開かれました。学会のテーマは、「過渡期におけるアニマ・ムンディ：文化的、臨床的、専門的挑戦」でした。私は学会のテーマに即して「タオの心とアニマムンディのタオ」という演題で、全体会での講演を行ないました。そこでは、中国文化における心理学を背景として、「タオ」、「トランス」、タオにおける元型分析、に焦点をあてました。

私の日本の仲間である、ユング派分析家の Hiromi Kiyose による翻訳本の一部となり、Kazuki Chiga による The Code of “Laozi”-A Gate for the Great Tao の序文を書かせていただくという貴重な機会に恵まれたことに、感謝しています。著者はこの本を「調和的な世界を作った先人たちと、老子の魂に」捧げています。自然からのタオ、自然のためのタオ、これを私の序文とさせていただきたいと思います。

Shen Heyong
In Lu lake, Xixin Island
2020 年 9 月